



東京富士美術館

文豪と印象派展

♪ 名曲コンサート

【“極上ワイン”の香り～浜中浩一クラリネットリサイタル】

日時: 2007年 6月3日(日) 13:30～14:30
会場: 東京富士美術館 ロビー
出演: 浜中浩一(クラリネット) 二宮和子(クラリネット) 榎本潤(ピアノ) 浦野秀美(司会)

内容: 「NHK交響楽団」首席奏者を長年務めた日本を代表する名演奏家・浜中浩一の出演。日本クラリネット協会名誉会長。二宮和子(浜中氏夫人)も共演。お二人とも、イギリスで出版の「今日のクラリネット巨匠達～世界55人」に選ばれた方。ピアノは、室内楽でも大活躍の榎本潤。“極上ワイン”のような芳醇な香りと深い味わいに満ちた音楽をどうぞお楽しみください。

曲目: ロッシーニ/ファンタジーより、ツェルニー/ロマンス、ドヴォルザーク/ユーモレスク、シュライナー/だんだん小さく、プーランク/クラリネットソナタ、メンデルスゾーン/コンチェルトシュテュック第1番 ほか



●浜中浩一 (クラリネット) Koichi Hamanaka

日本を代表するクラリネット奏者。1937(昭和12)年生まれ。東京芸術大学を首席で卒業。在学中に第28回日本音楽コンクール優勝。'60年「NHK交響楽団」に入団。'56～'62年フルートの小出信也らと「アウロス五重奏団」を結成し管楽器による室内楽で新風を巻き起こす。'62年渡仏し、巨匠ジャック・ランスロ氏を“生涯の師”と仰ぎ師事。'64年フランス国立ルーアン音楽院にてクラリネットで最高の栄誉賞を得て卒業。フランス国立ルーアン歌劇管弦楽団と契約。'69年帰国後は「N響首席奏者」として復帰し、定年まで24年間その重職を全うする。功績により「有馬賞」受賞。'89年にはイギリスで出版の「今日のクラリネット巨匠達～世界55人」に紹介される。ソロ・室内楽、CD録音と多彩な活動を展開し、日本を代表する名演奏家として活躍している。'79～'07年「日本クラリネット協会」理事長・会長を歴任。国立音楽大学、東京音楽大学、洗足学園音楽大学・大学院、尚美学園デュプロマコース等で後進の育成に尽力し、幾多の逸材を輩出。現在、尚美学園大学大学院教授。日本クラリネット協会名誉会長。クラリネット一筋に“生涯青年”の前進を続けている。

最新CD:「クラリネット奏者・浜中浩一の世界」(3枚組)2007年5月発売(フォンテック)
photo 小島由起夫

●二宮和子 (クラリネット) Kazuko Ninomiya

桐朋学園大学音楽科卒業(2期生)。1961年渡仏し、世界的クラリネット奏者ジャック・ランスロー教授に師事。'63年フランス国立ルーアン音楽院を審査員満場一致の首席で卒業。洗練されたフランス音楽の伝統を継承する演奏家として注目を集め、ルーアンを中心に演奏活動。1970年帰国。これまでに、23回のソロリサイタルを開催。フランス近現代の作品はもとより、世界の“知られざるクラリネット名曲”を意欲的に紹介。室内楽でも「東京アーツ・アンサンブル」「Play the Music」等で活発に活動。海外7カ国で公演。国際コンクール審査員も多数歴任。その活躍は、'89年イギリスで出版の「今日のクラリネットの巨匠達～世界55人」にも紹介される。演奏活動のかたわら、桐朋学園大学('70年～)、尚美学園デュプロマコース('99年～)、大阪音楽大学('89～'97年)で後進を育成し、優秀なプロ奏者を数多く輩出。日本クラリネット協会・常任理事、桐朋学園大学(音楽部門)同窓会副会長も務める。“クラリネットと共に50余年”。日本を代表するクラリネット奏者として、さらなる前進を続けている。



photo 小島由起夫



●榎本潤(ピアノ) Jun Enomoto

国立音楽大学ピアノ専攻科を経て、同大学院を修了。ピアノをダン・タイソン、柳川守の各氏に、チェンバロ及び室内楽を小林道夫氏に師事。これまでに、N響、都響、東京響、東京フィルなど都内主要オーケストラの各コンサートマスターと室内楽奏者として共演。また、古澤巖、大谷康子、天満敦子(以上ヴァイオリン)、赤坂達三(クラリネット)、山形由美(フルート)、林庸子(ソプラノ)、錦織健(テノール)、岡本知高(ソプラニスタ)、東儀秀樹(雅楽)の各氏ら著名アーティストと全国各地での公演やテレビ出演を重ねている。海外来日アーティストとの共演も多く、世界的ヴァイオリニストのソネンバーグ、スカーマン、アナスタシアの各氏をはじめ、ウィーン・フィル首席コンサートマスター・キュッヒル氏率いるアンサンブルとも共演。チェンバロ奏者としても、ソロをはじめ世界一流室内楽団と多数共演。その他、指揮、レコーディング、演奏会プロデューサー、編曲、後進の指導など、幅広い分野で活動中。現在、国立音楽大学講師。

●浦野秀美 (司会) Hidemi Urano

クラシックを中心とした国内外アーティストのコンサート制作を数多く手がける。その傍ら東京アナウンス学院に学び、司会・朗読・ナレーションでも活躍中。コンサートを「もっと楽しく!」「もっと身近に!」を心情に、東京シティフィル「肩のこらないクラシックのヒット曲」公演や、ベラルーシ共和国「ラジミチ民族アンサンブル」日本ツアーでの司会、モンゴル民話「スーホの白い馬」馬頭琴との朗読共演、習志野フィル「ロメオとジュリエット」公演ナレーション等に出演。“温かな雰囲気”を創る司会者として好評を得ている。

